

- 1.下五児童遊園の現状(P1) 2.アンケート調査の結果(P2~3) 3.リノベーション基本方針(P4)
 4.【参考】施設の配置案(P5) 5.ご意見ボード(P6) 6.今後のスケジュール(P7)

1.下五児童遊園の現状

●経緯

下五児童遊園は開園から57年が経過し、老朽化による遊具の安全性の課題や、トイレ・出入口などのバリアフリー未対応の課題から、**令和8年度にリノベーション工事を行ないます。**

アンケート調査や意見交換会を通し、地域の皆様の意見を基に、工事内容の検討を進めていきます。

【概要】

住所:目黒区下目黒5-33-6 面積:361.48㎡

開園:昭和44(1969)年3月24日

主な施設:遊具(すべり台、シーソー、ブランコ)、トイレ、水飲み、ベンチ、日よけ、貯水槽、防災無線

●周辺環境

【一人あたり公園面積】

都立公園はあるが、住宅街の中にある公園は少ない。

都立公園を除くと不動住区の一人あたり公園面積は0.27㎡/人。

(目黒区平均1.74㎡/人)

※一人あたり公園面積 = 対象地域の公園面積 ÷ 対象地域の人口

【周辺公園の状況】

- ①さくらの里街かど公園
遊具なし、水飲み、ベンチ



- ②元競馬南泉公園



スプリング遊具
水飲み、ベンチ



- ③下六児童遊園
砂場、鉄棒、ロッキング遊具
水飲み、ベンチ、トイレ、日よけ



- ④不動公園
斜面を利用したすべり台、砂場、鉄棒、複合遊具、水飲み、ベンチ、トイレ、日よけ、水景施設など



- ⑤都立林試の森公園

複合遊具(児童用・幼児用)、ロープウェイ、砂場、ロッキング遊具、シーソー、ジャングルジム、じゃぶじゃぶ池、バリアフリートイレなど



- ⑥こなべ野公園
遊具なし
トイレ、ベンチ、水景施設



- ⑦清水東児童遊園
ブランコ、シーソー、砂場
水飲み、ベンチ、トイレ、日よけ



- ⑧品川区立小山台公園
ブランコ、砂場、複合遊具(幼児用)、健康遊具、ベンチ、トイレ、縁台など



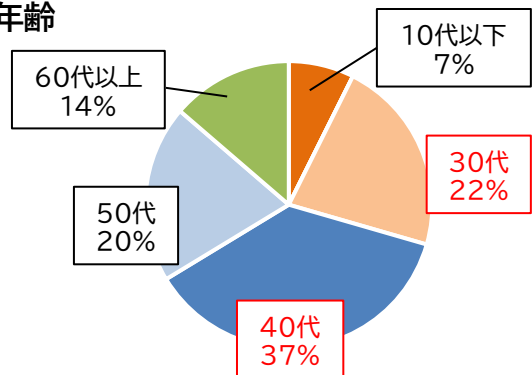
2.アンケート調査の結果

下五児童遊園周辺の約1500世帯へのチラシの配布、目黒区公式ウェブサイトなどによるアンケート調査を行いました。以下、アンケート調査の結果です。

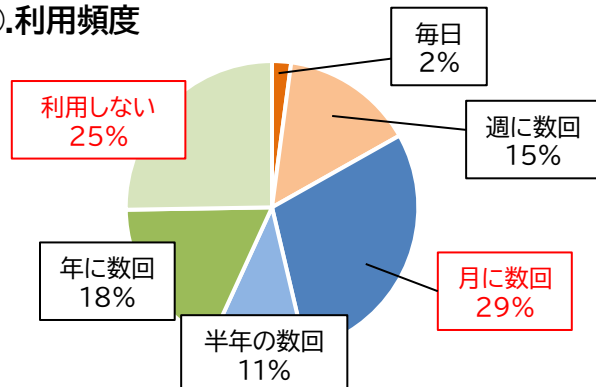
①.集計期間:令和8年1月26日～2月15日

②.回答者数:95件

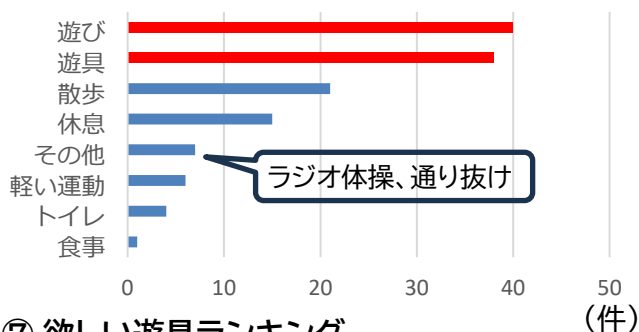
③.年齢



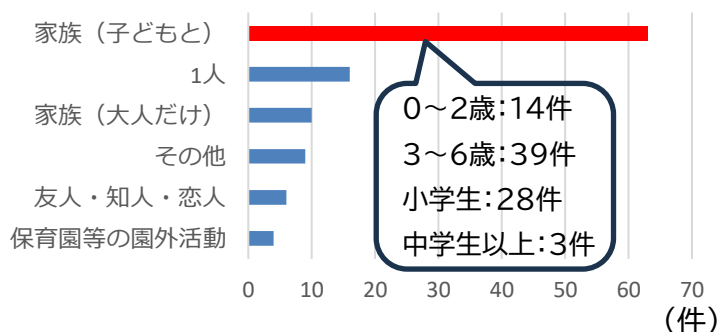
④.利用頻度



⑤.利用する主な内容



⑥.主に誰と利用するか



⑦.欲しい遊具ランキング

1位:ブランコ(62票) 2位:すべり台(44票) 3位:鉄棒(37票)

4位:健康遊具(28票) 5位:うんてい(23票) 6位:ジャングルジム(20票) 7位:シーソー(13票)

※未就学児とだけ利用する人は「すべり台」を、小学生以上の子どもと利用する人は「ブランコ」を要望する人が多かった。

⑧.主な自由意見

トイレ:23件・・・トイレへの不満の声が多数。清潔な男女別バリアフリートイレの要望。

ベンチ・テーブル:15件・・・食事や休憩のニーズ。屋根や暑さ対策のミストの要望。

ペット(犬・猫):10件・・・犬禁止の明確化。猫の糞尿トラブル。

防災・災害:6件・・・かまどベンチや、防災倉庫の要望。

⑨.欲しい遊具や施設のイメージ写真



2. アンケート調査の結果

不動小学校の児童にアンケート調査を行いました。以下、調査結果です。

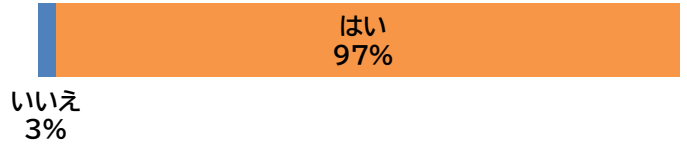
①.集計期間:令和8年3月6日～3月8日

②.回答者数:33件

③.学年



④.下五児童遊園で遊んだことがあるか。



⑤.欲しい遊具ランキング

1位:ブランコ(27票:81.8%) 2位:鉄棒(17票:51.5%) 3位:うんてい(16票:48.5%)

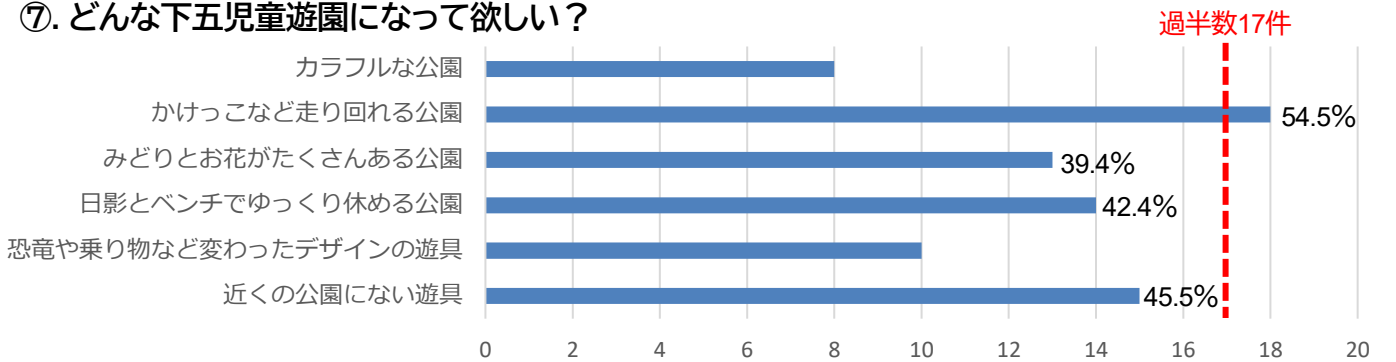
4位:ジャングルジム(13票) 5位:すべり台(11票) 6位:シーソー(8票)

※「ブランコ」「鉄棒」「うんてい」は学年にかかわらず要望が高かった。低学年ほど「すべり台」の要望が高かった。

⑥. その他欲しいもの

回転遊具(2件)、ボルダリング(2件)、登り棒(2件)、アスレチック遊具(2件)、小学生用ブランコ(2件)

⑦. どんな下五児童遊園になって欲しい?



※「走り回れる公園」を選択した児童は「みどりがたくさんある公園」を、選択しなかった児童は「近くにない遊具」を選択する傾向があった。なお、学年にかかわらずこの傾向にあった。

⑧. 主な自由意見

- ・トイレをきれいにとの意見が多数。中には大人が占領しないようトイレを無くしてほしいとの意見も。
- ・ブランコが高さがあって楽しいので残してほしい。・全体的に雰囲気や暗いので明るくなって欲しい。

● アンケート調査のまとめ

- ・アンケートの回答は30.40代と子どもの親世代の回答が多い。
- ・下五児童遊園の利用頻度は、「月に数回程度」や、「利用しない」の回答が多い。
- ・児童遊園の利用の仕方は、「遊具を使った遊び」が最も多いが、「休憩」や「散歩」の利用もある。
- ・児童遊園は親子での利用が最も多く、子どもは「3～6歳」、次いで「小学生」の利用が多い。
- ・児童遊園の利用時間帯は、13～16時の利用が最も多い。
- ・欲しい遊具ランキングは、1位「ブランコ」、2位「すべり台」、3位「鉄棒」となった。対して小学生アンケートでは1位「ブランコ」、2位「鉄棒」、3位「うんてい」と意見が分かれた。
- ・子どもの年齢が低いと「すべり台」の要望が高い傾向があった。
- ・小学生アンケートでは「かけっこなど走り回れる公園」の要望が多かった。走り回れる公園を選択した児童は「みどりがある公園」を、選択しなかった児童は「近くにない遊具」を選択する傾向があった。
- ・主な自由意見では、トイレに関する不満の声が多く見られた。犬や猫の利用に関する意見もあった。
- ・欲しい遊具として、回転遊具や、複合遊具の要望があった。
- ・欲しい施設として、日除けを求める要望が多く見られた。

3.リノベーション基本方針

以下の基本方針にて下五児童遊園のリノベーション工事に取り組みます。

(1)安全で安心な施設づくり

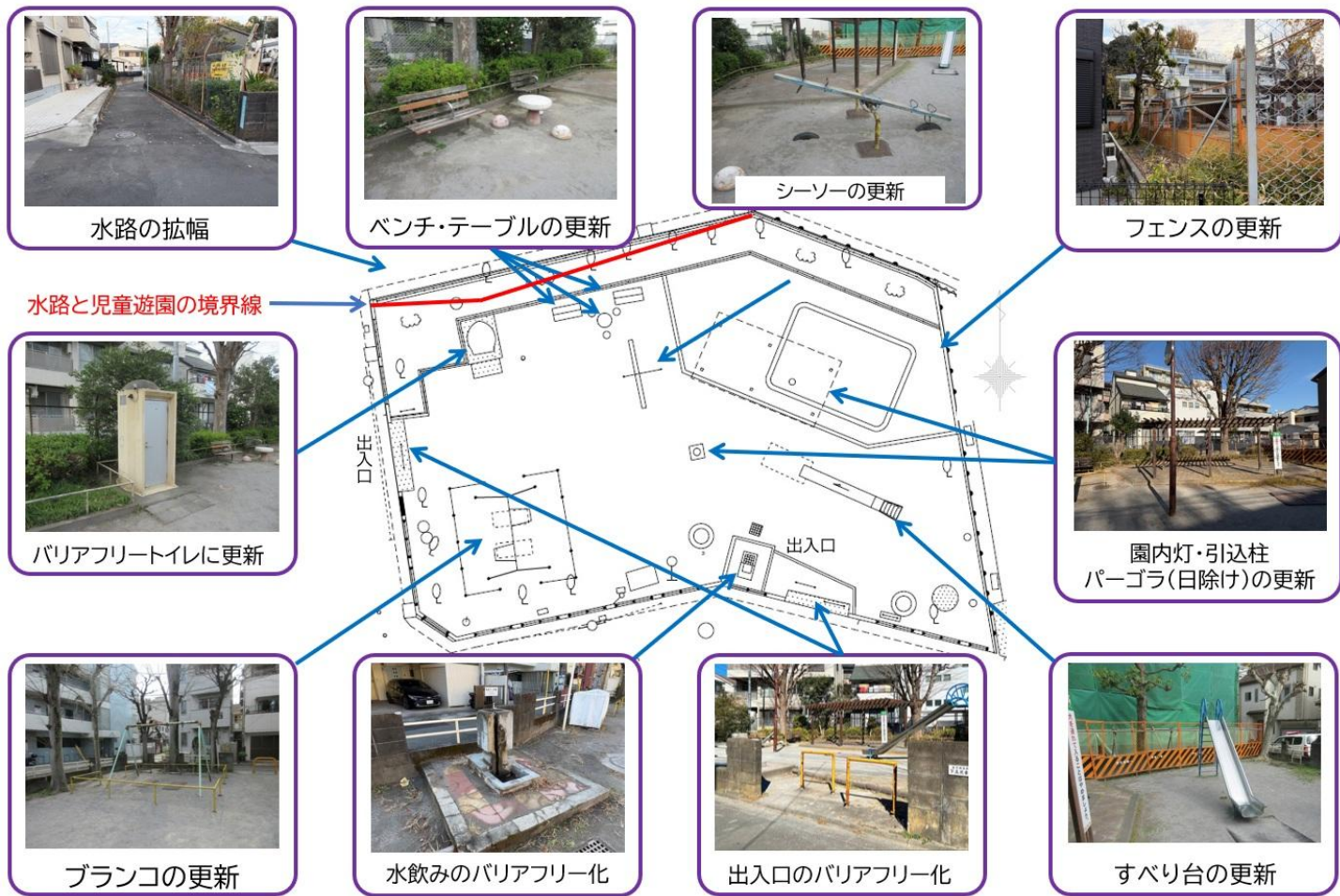
遊具を安全規準に適合させて更新し、子どもがのびのびと安全に遊べるように整備します。

(2)施設のバリアフリー化

トイレ・出入口・水飲みのバリアフリー化を行います。

(3)生物多様性に配慮

既存の植栽を活かすとともに、生物多様性に配慮した整備を行います。



●更新後のイメージ



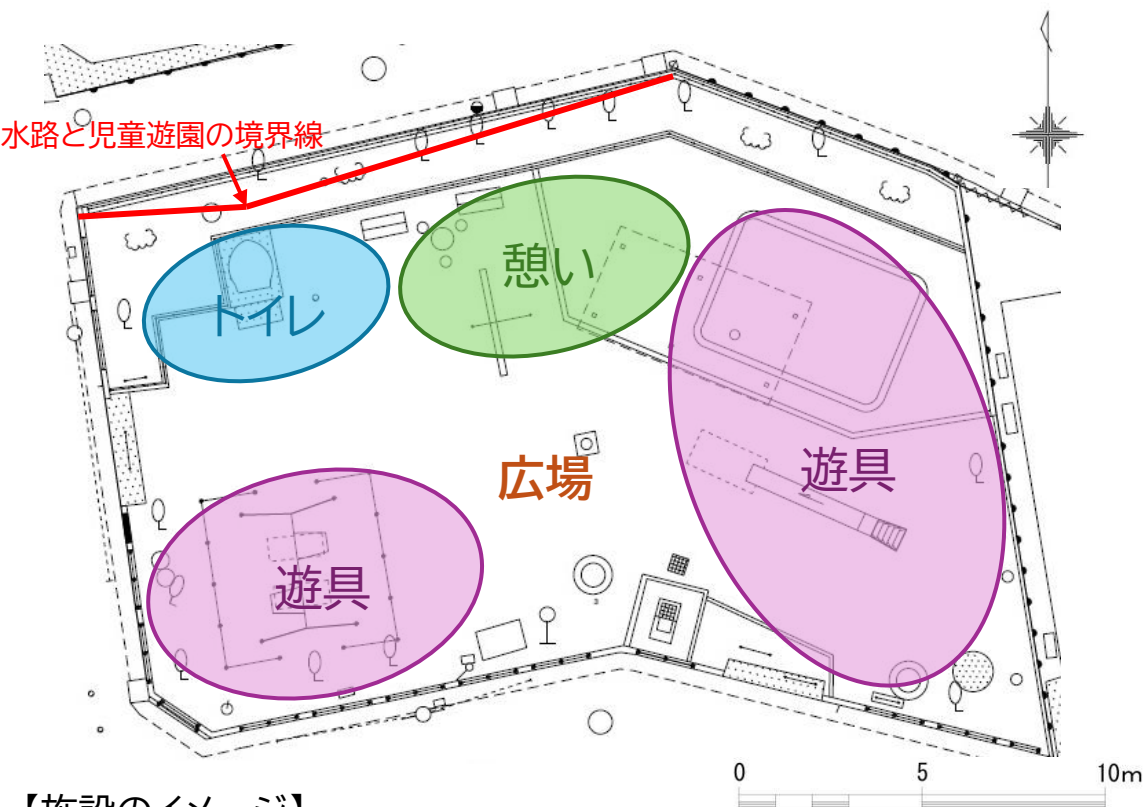
4.【参考】施設の配置案

A案

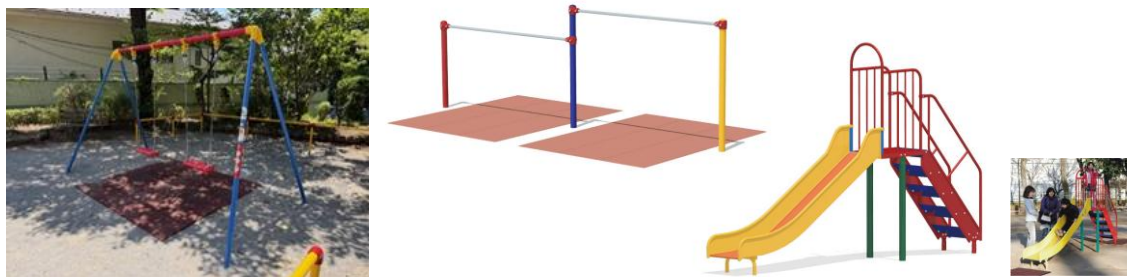
現状の児童遊園の使い方を引継ぐ

【特徴】

- ・遊具は現状と同等の3基程度設置する。
- ・施設の配置はほとんど現状と変わらない。
- ・日よけの下にベンチを設置する。



【施設のイメージ】

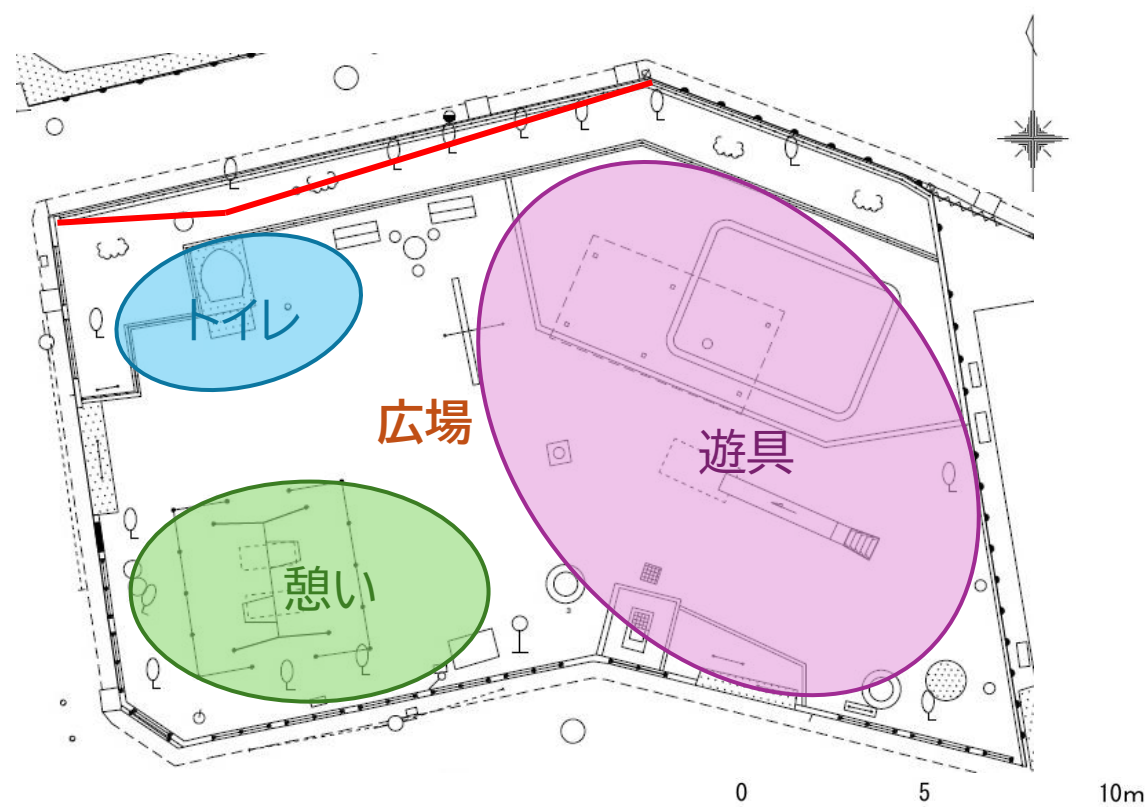


B案

遊びを充実させる

【特徴】

- ・現状より遊具を増やし、4基程度設置する。
- ・南側に休憩エリアを移し、東側に遊具ゾーンを集約する。
- ・場合によっては日よけは設置しない。



【施設のイメージ】

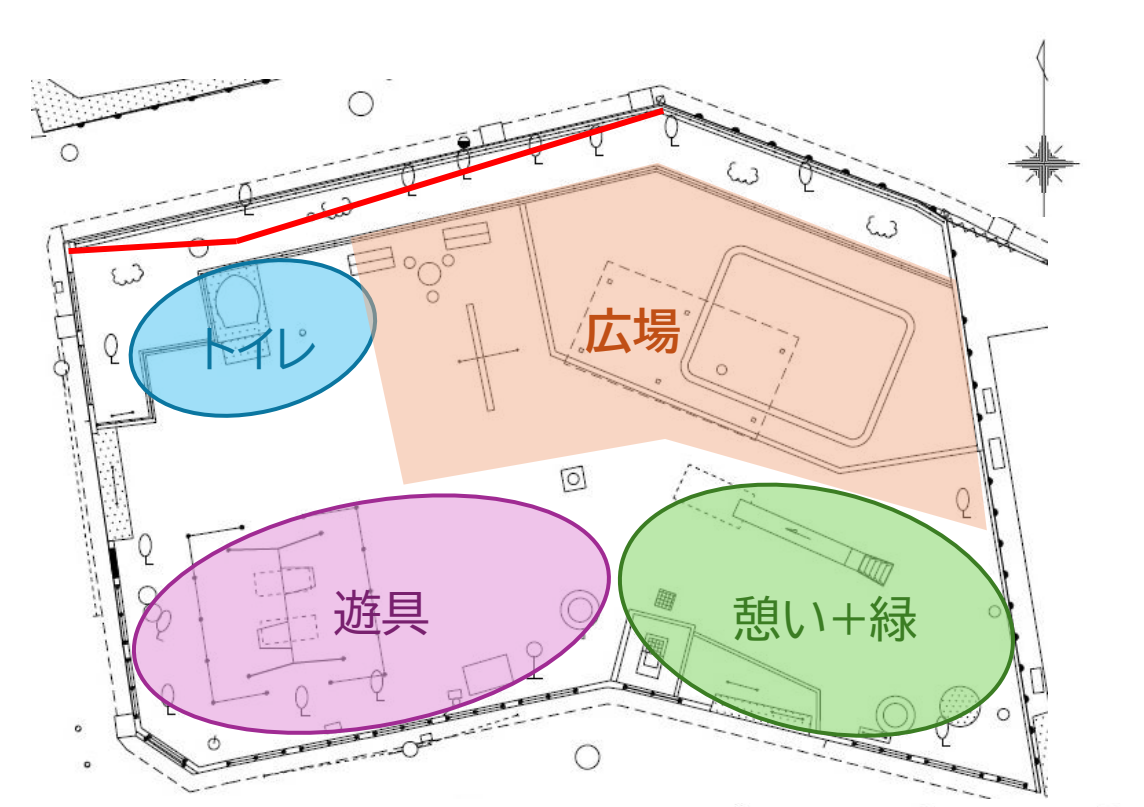


C案

広場と憩いの空間を充実させる

【特徴】

- ・遊具は現状と同等の3基程度設置する。
- ・広場面積を広げ、かけっこなどの活動をしやすいとする。
- ・日よけの下にベンチやテーブルを設置。緑を充実させる。



【施設のイメージ】



5.ご意見ボード

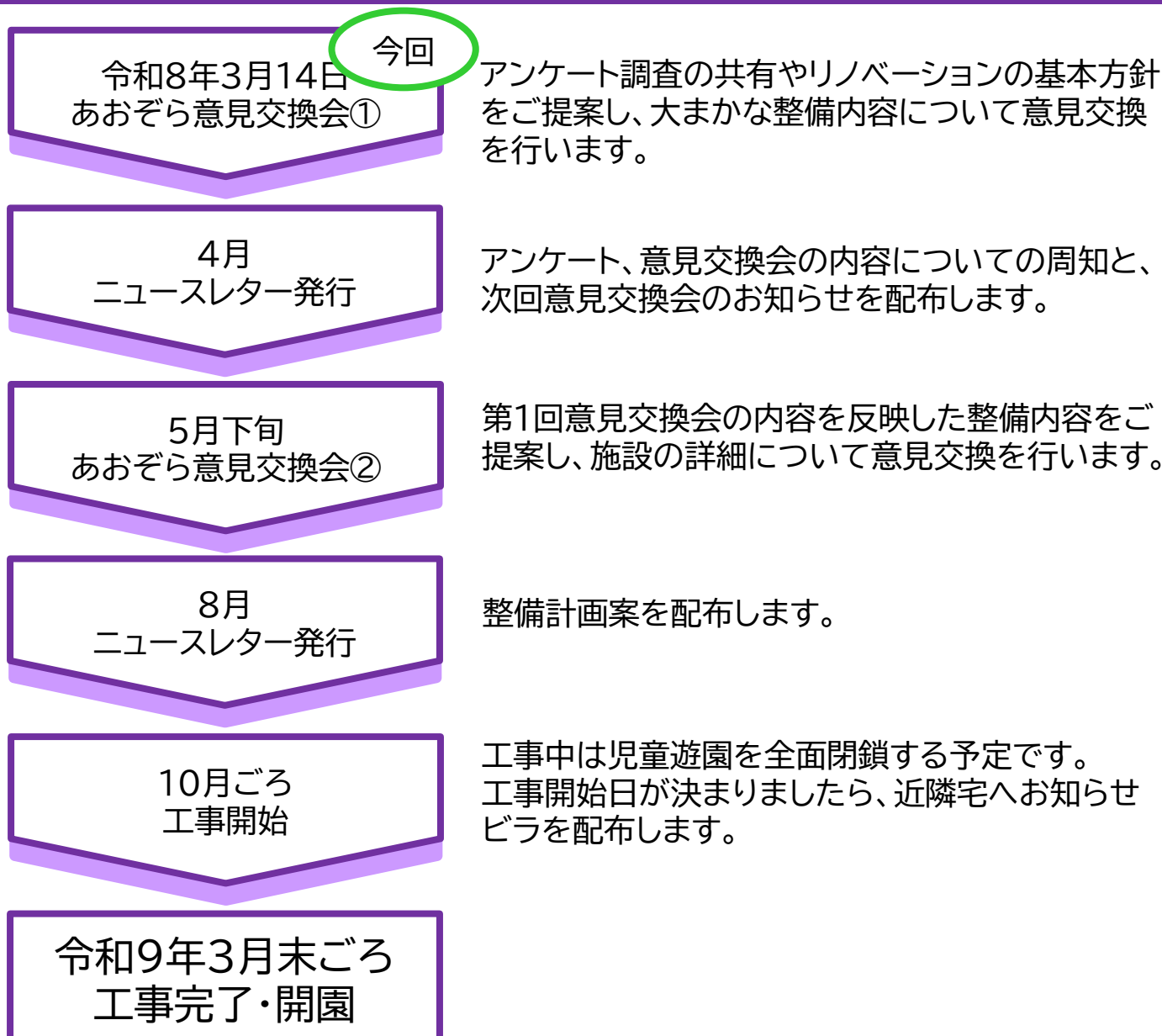
●自由意見を付箋に書いて貼ってください。

①.遊具について

②.施設について

③.その他

6.今後のスケジュール



第2回あおぞら意見交換会について

第2回あおぞら意見交換会は、下記の通り開催予定です。
詳細は4月に配布予定のニュースレター内でお知らせします。是非ご参加下さい。

日時:令和8年5月下旬ごろ

会場:下五児童遊園内

内容:整備内容や設置する施設の詳細について

【問い合わせ先】目黒区みどり土木政策課施設整備係

電話:03-5722-9753 FAX:03-3792-2112

メールアドレス:midoridoboku07@city.meguro.tokyo.jp